



2013年3月期 決算説明資料

株式会社 京写

証券コード: 6837

2013年5月22日

<http://www.kyosha.co.jp/>

- I. 会社概要
- II. 2013年3月期 決算概要
- III. 2014年3月期 業績予想
- IV. 中期経営計画の見直しについて



A light gray world map is centered in the background of the slide.

I. 会社概要

会社概要



- 社名 **株式会社 京 写**
- 代表者 代表取締役社長 児 嶋 一 登
- 所在地 京都府久世郡久御山町森村東300
- 設 立 1959年(昭和34年)2月
- 上 場 大阪証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード:6837)
- 資本金 1,102百万円 (発行済株式数 14,624,000株)
- 事業内容 プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売
- 主要製品 片面プリント配線板、両面プリント配線板、多層プリント配線板
PALAP(次世代多層基板)、部品実装、実装治具、搬送治具
- 従業員数 連結 1,534名 (2013年 3月31日現在)
- 主要取引先 家電製品、自動車関連、事務機、映像機器、アミューズメント、電子部品、
音響機器メーカー、他
- 決算日 3月31日
- 関係会社 連結子会社数 7社 持分法適用会社 1社 (2013年3月31日現在)

プリント配線板が使用されている主な製品



◆電気を使用する製品にはすべてプリント配線板が使用されています。



※上記写真については、一般的にプリント配線板が使用されている製品例を示したものです。

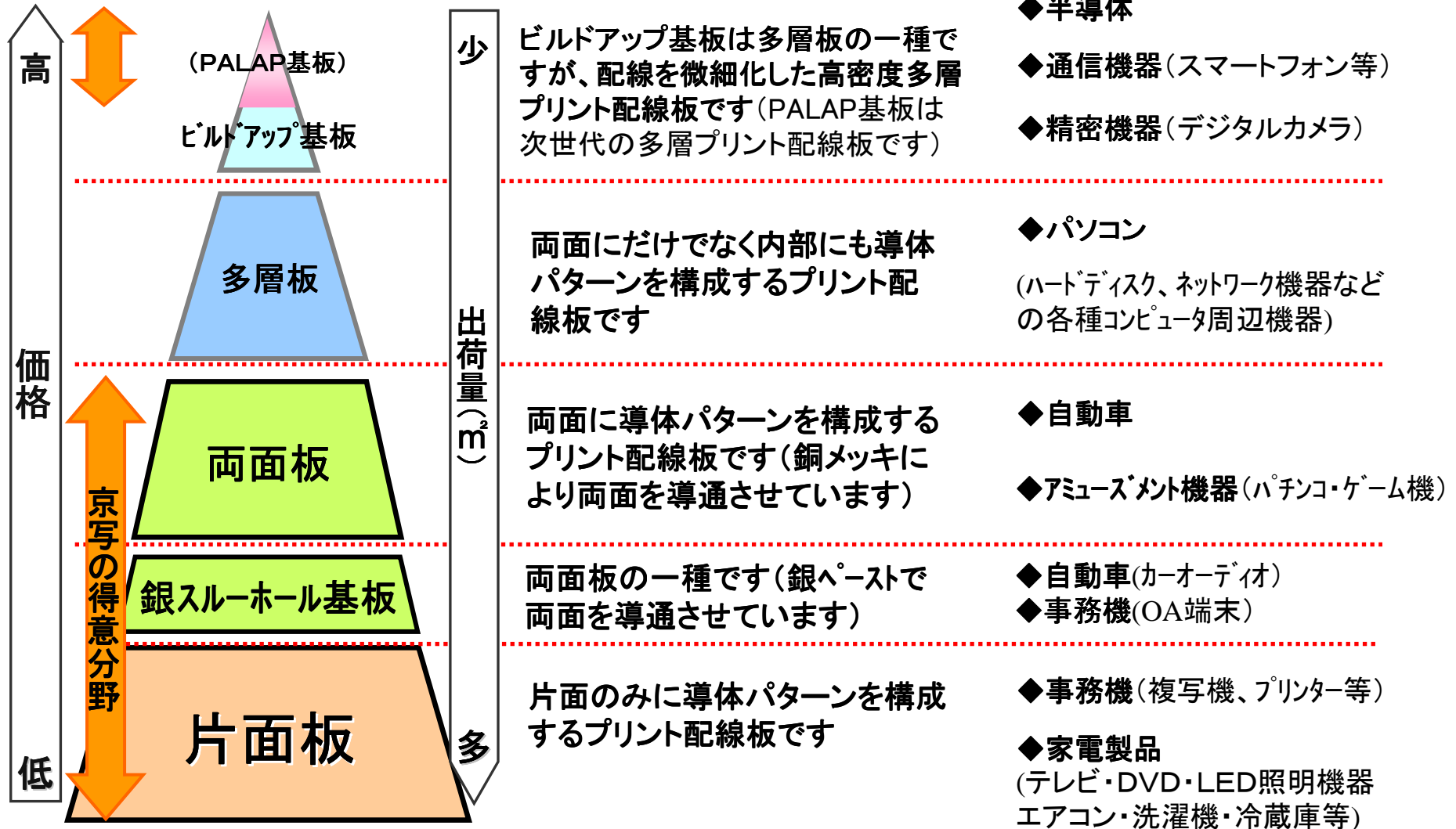
プリント配線板の種類と主な用途



プリント配線板の種類

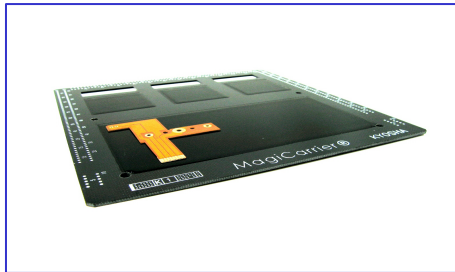
説明

主な用途



◆プリント配線板及び実装搬送治具の製造販売

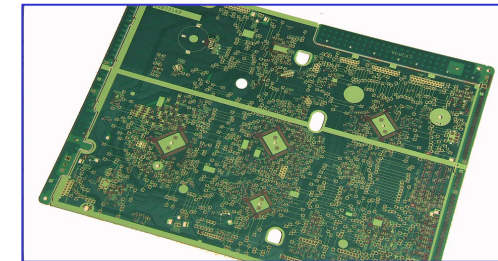
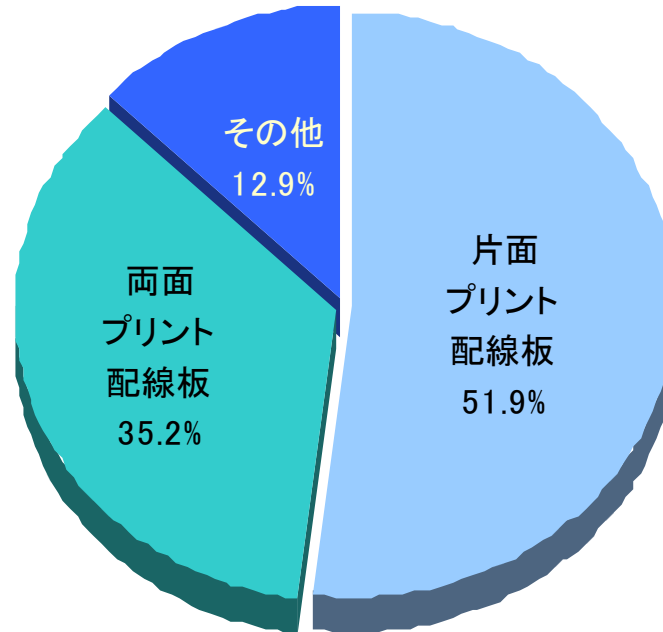
連結売上高 149億円(2013年3月期)



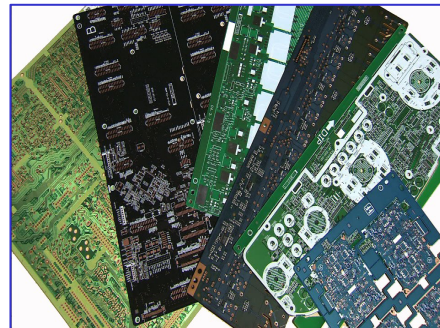
◎その他

- ・プリント配線板回路設計
- ・金型
- ・搬送治具
- ・部品実装事業
- ・メタルマスク 等

(写真: 搬送治具「MagiCarrier®」)



◎片面プリント配線板



◎両面プリント配線板

京写連結マップ



中国グループ

名称	株式所有割合	種類	決算期
京写香港	100.00%	連結	12月
京写広州	95.00%	連結	12月
プロセス・ラボ・ミロン(蘇州)	35.00%	持分法	12月

国内グループ

名称	株式所有割合	種類	決算期
京写	—	—	3月
三和電子	100.00%	連結	1月
京写プロセス・ラボ・ミロン	100.00%	連結	1月



東南アジア

名称	株式所有割合	種類	決算期
京写インドネシア	95.54%	連結	3月
京写タイランド	99.99%	連結	12月

北米

名称	株式所有割合	種類	決算期
京写ノースアメリカ	100.00%	連結	12月

※連結子会社数 7社 持分法適用会社 1社 (2013年 3月31日現在)

京写グループの生産能力



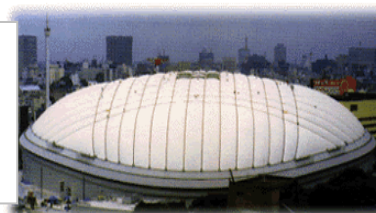
◆片面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
九州工場	80,000m ²
中国工場	240,000m ²
インドネシア工場	180,000m ²
合計	500,000m ²

◆両面プリント配線板

生産拠点	生産能力/月産
京都工場	15,000m ²
新潟工場	15,000m ²
中国工場(銀スル)	40,000m ²
合計	70,000m ²

月産、東京ドーム建築面積約10個分
年間128個分の面積に相当



東京ドーム面積
46,755m²

片面板世界No.1の生産量

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical black line intersected by a horizontal black line, with four colored squares (blue, red, yellow, and white) arranged in a 2x2 grid around the intersection.

Ⅱ. 2013年3月期 決算概要

2013年3月期業績サマリー



(単位:百万円)

連結	前期実績 (2012年3月)	当期実績 (2013年3月)	増減額	前期比
売上高	16,156	14,981	△1,175	92.7%
営業利益	716	553	△162	77.3%
経常利益	796	660	△135	83.0%
当期利益	614	316	△297	51.5%
営業利益率	4.4%	3.7%		

(単位:円)

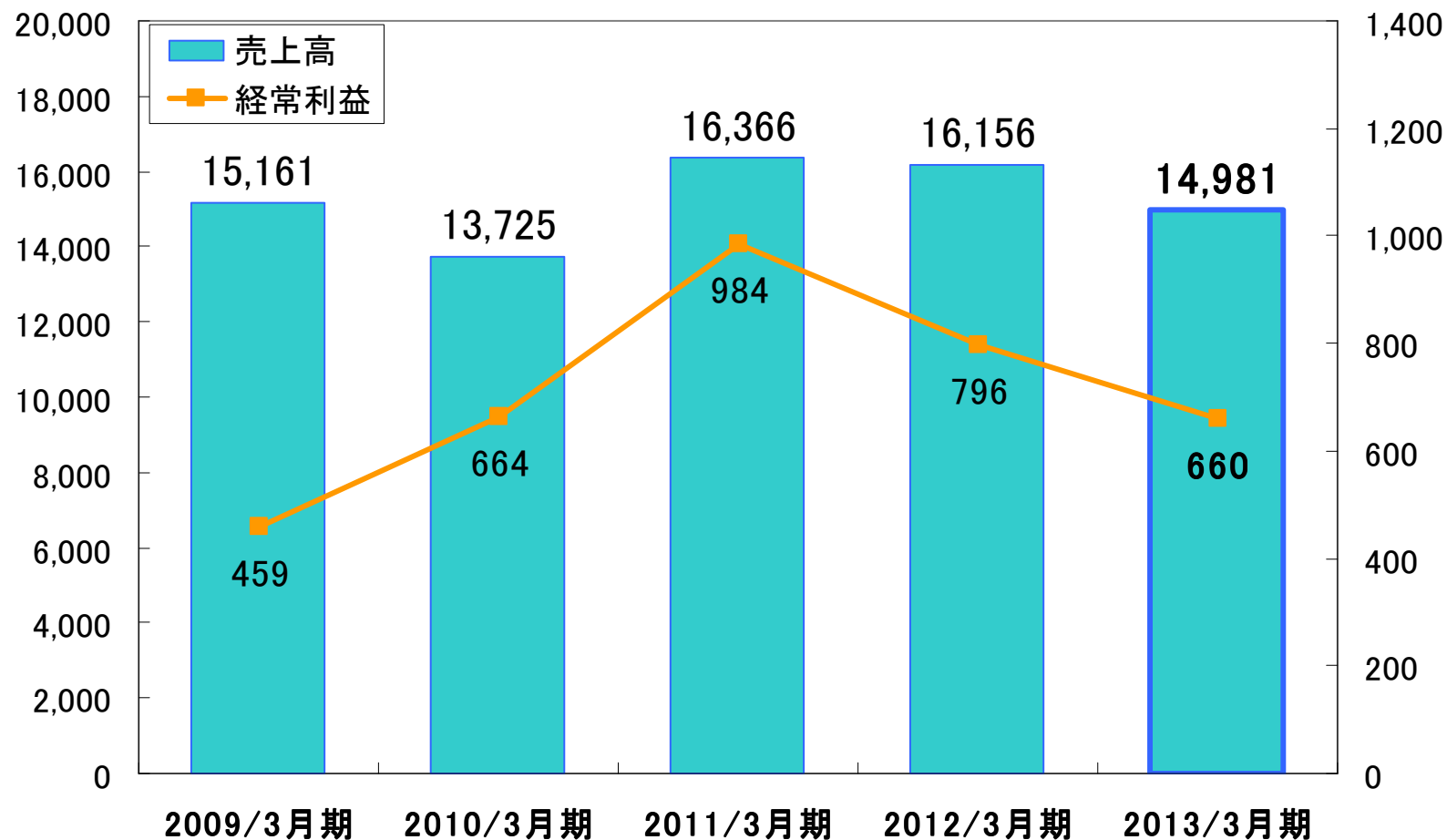
為替レート(US\$)	79.08	83.10	4.02	
(HK\$)	10.26	10.29	0.03	

業績推移



百万円(売上高)

(経常利益)百万円



為替レート

	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
US\$	100.54	92.85	85.72	79.08	83.10
HK\$	13.28	12.07	11.30	10.26	10.29

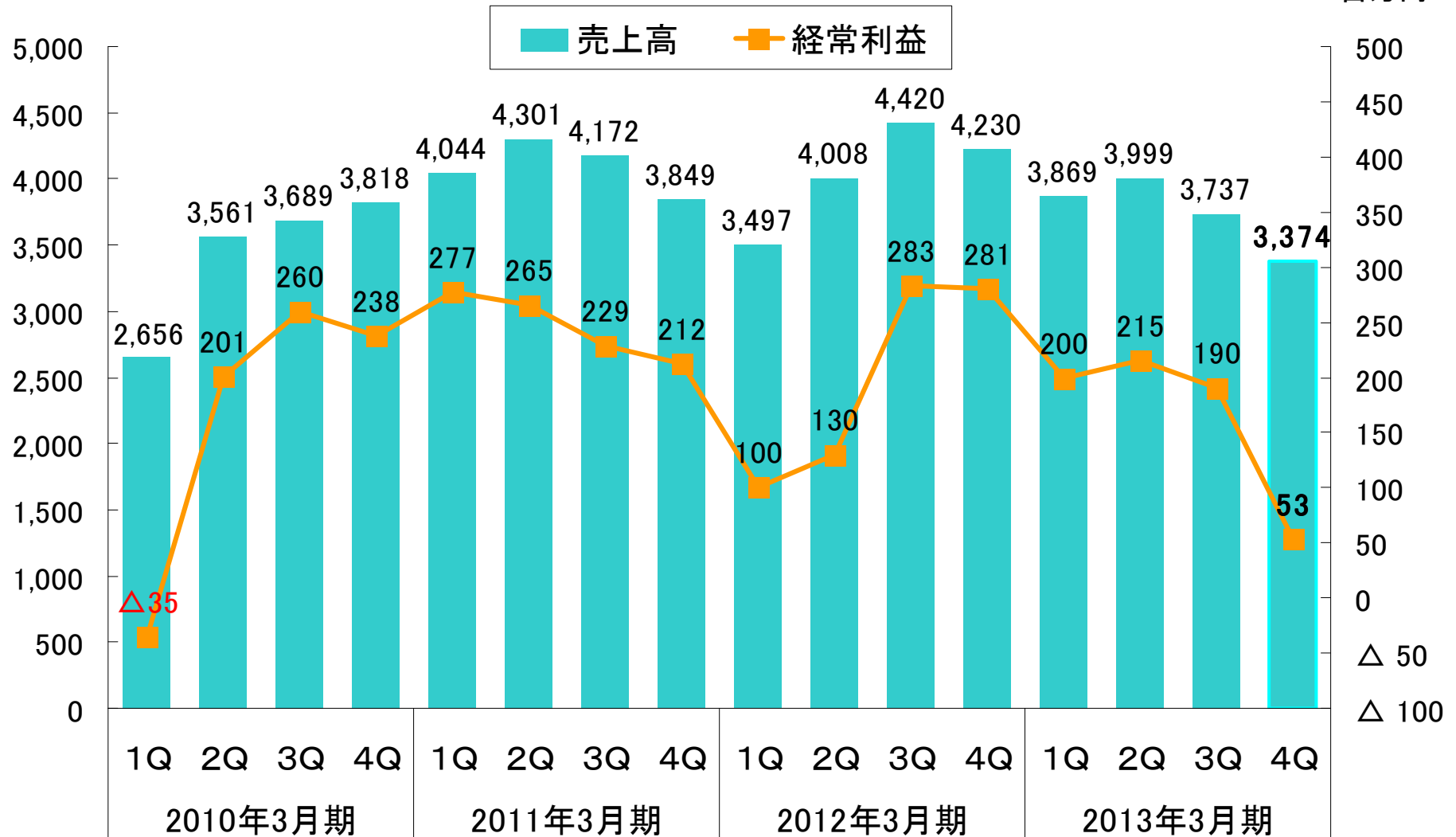


四半期毎の業績推移

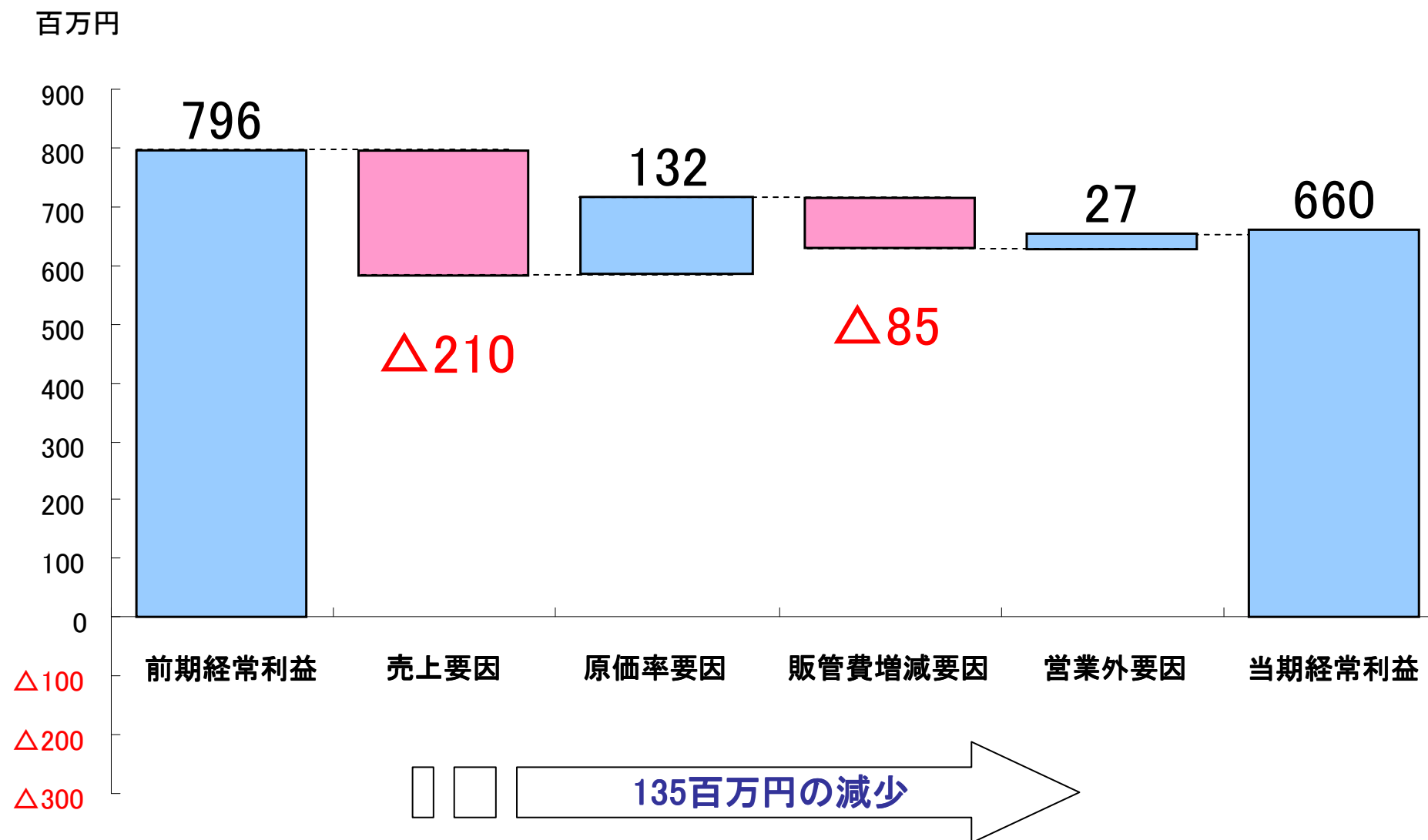


売上高
百万円

経常利益
百万円

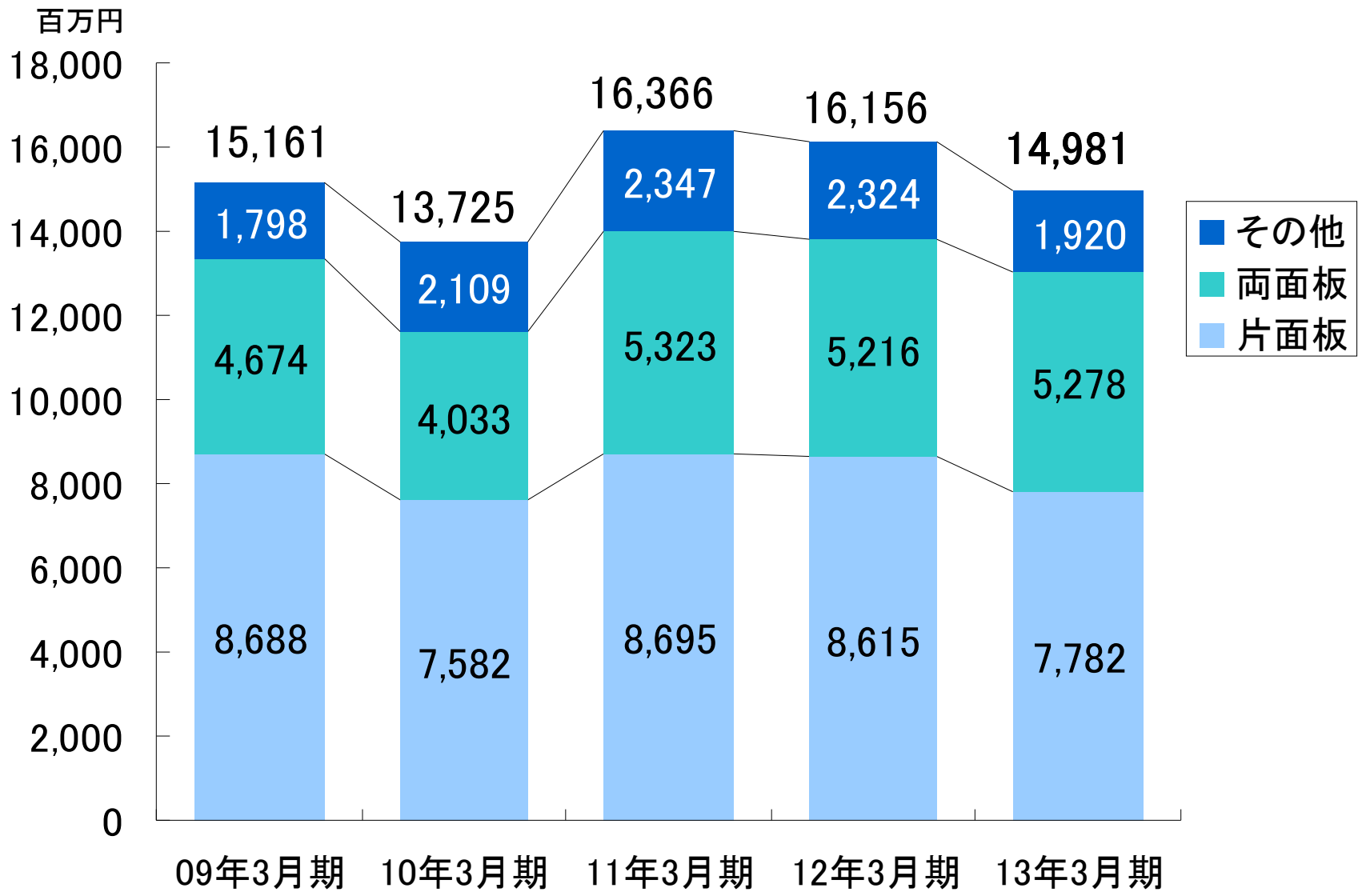


経常利益の増減前期比較



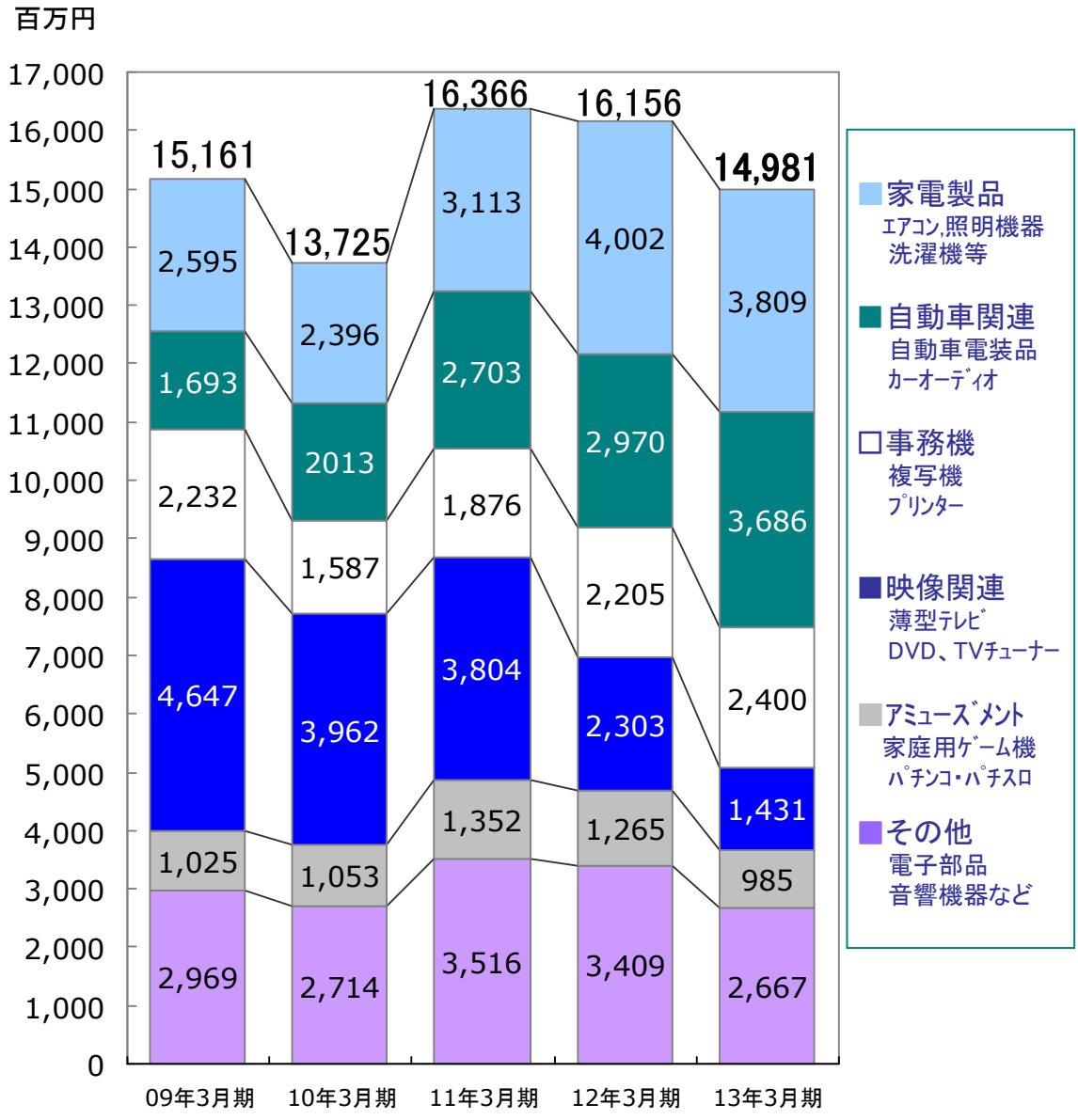
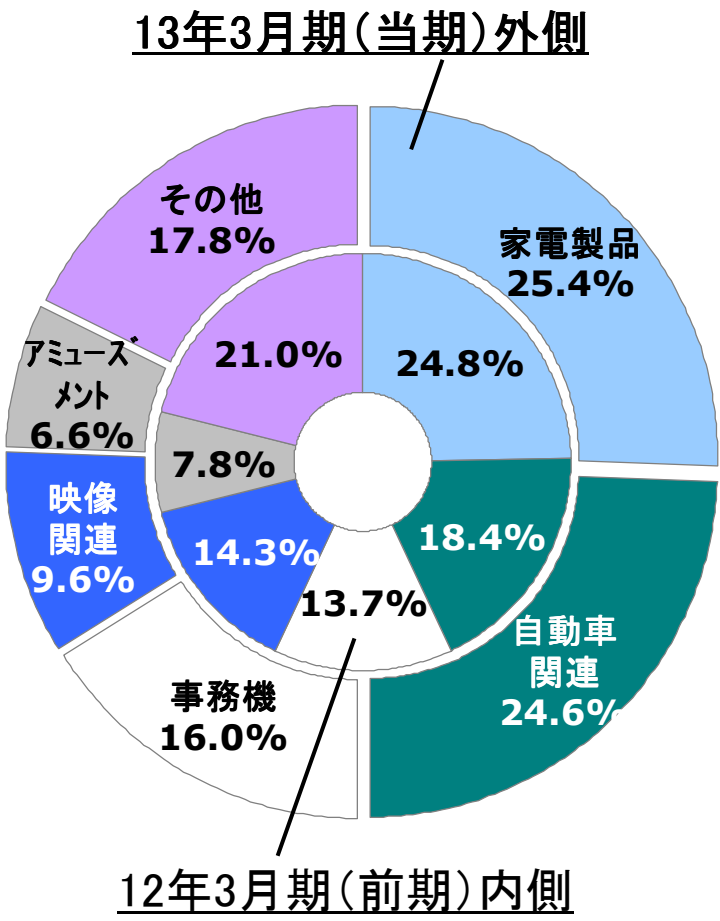


製品別売上高推移



※両面板には一部、多層板と銀スルーホール基板を含んでいます。

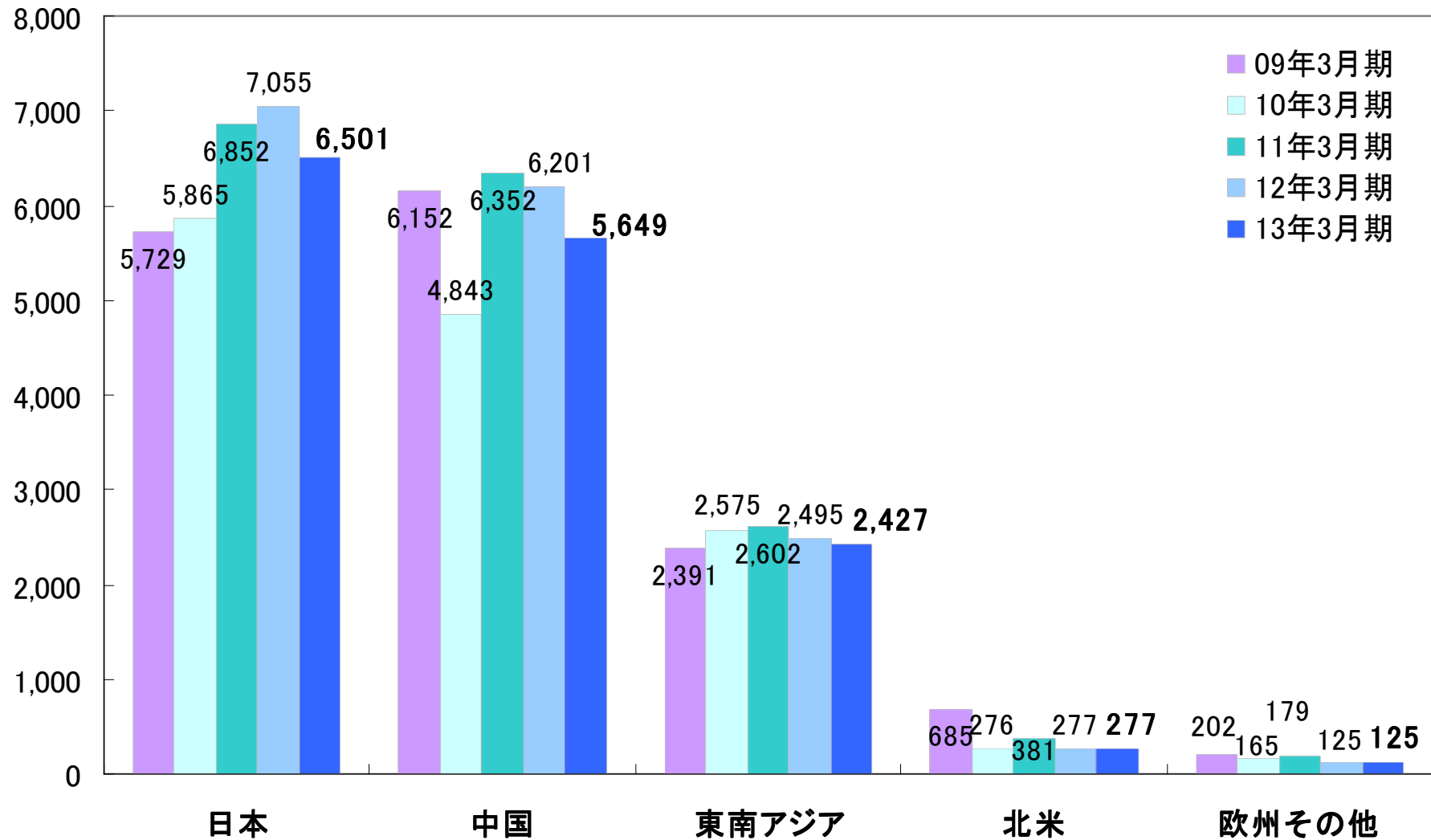
用途別売上高



地域別売上高推移



百万円



貸借対照表



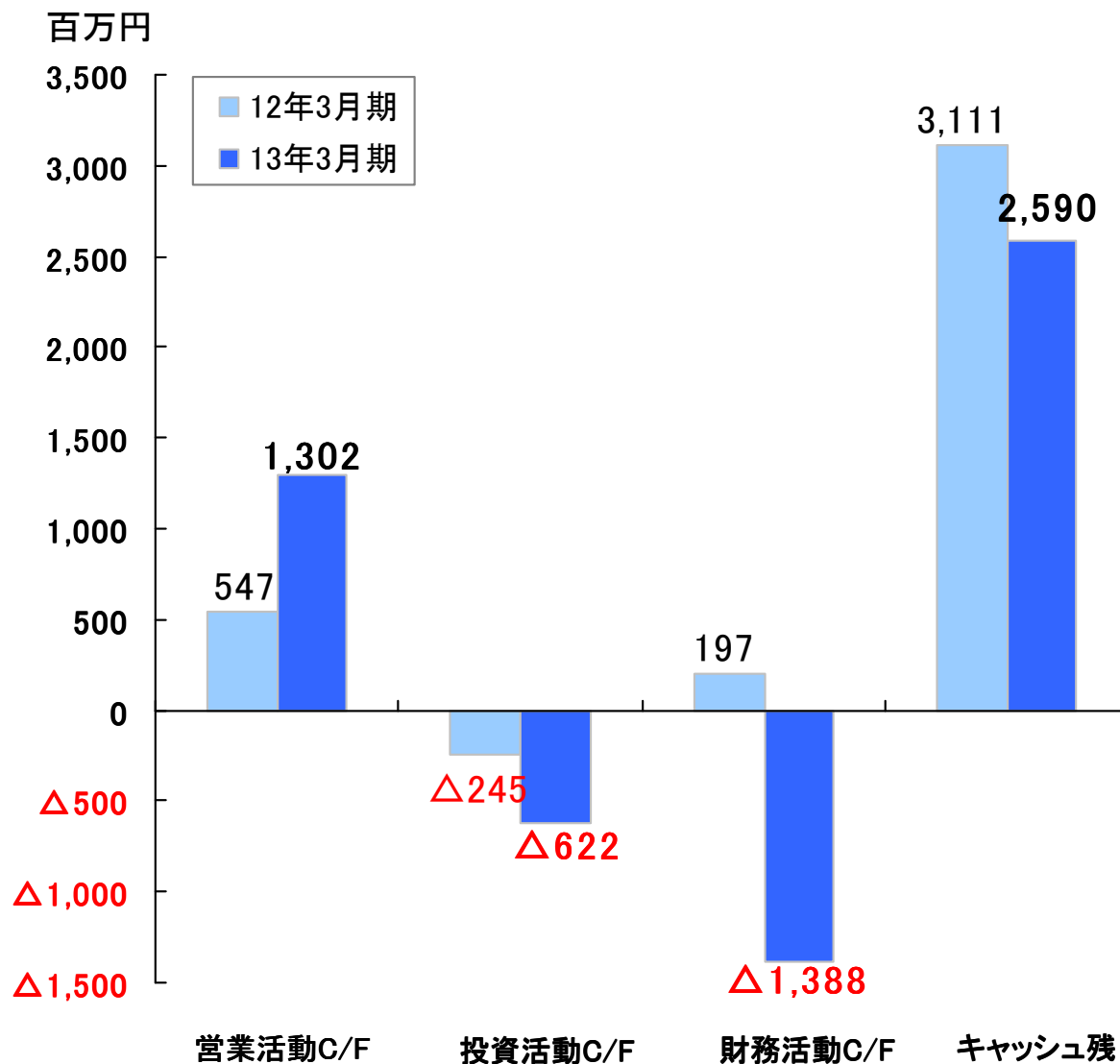
(単位:百万円)

	前期末 12年3月	当期末 13年3月	増減		前期末 12年3月	当期末 13年3月	増減
流動資産	8,049	7,008	△1,041	流動負債	6,138	5,150	△988
現預金	3,315	2,802	△513	仕入債務	2,689	2,355	△334
売上債権	3,073	2,612	△461	短期借入(リース債務含む)	2,913	2,178	△735
棚卸資産	1,347	1,301	△46	その他流動負債	535	616	81
その他流動資産	313	292	△21	固定負債	1,973	1,523	△450
固定資産	3,409	3,592	183	長期借入(リース債務含む)	1,498	1,056	△442
有形固定資産	2,694	2,991	297	その他固定負債	475	467	△8
無形固定資産	18	15	△3	純資産	3,346	3,926	580
投資その他資産	696	585	△111	(うち少数株主持分)	128	110	△18
資産合計	11,458	10,601	△857	負債・資本合計	11,458	10,601	△857

換算レート(円)	前期末	当期末
US\$	82.19	94.05
HK\$	10.00	11.17

経営指標	前期末	当期末
流動比率	131.1%	136.1%
有利子負債依存度	38.5%	30.5%
自己資本比率	28.1%	36.0%

キャッシュ・フロー計算書



<特記事項>

営業活動C/F 1,302百万円

税引前利益 549百万円

減価償却費 440百万円

売上債権の減少 654百万円

たな卸資産の減少 148百万円

仕入債務の減少 △538百万円

投資活動C/F △622百万円

有形固定資産の取得 △599百万円

国内:新製品開発及び
生産性向上投資

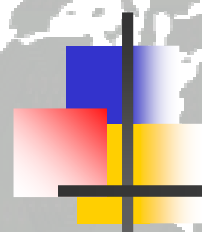
海外:省人化(生産効率化)投資

財務活動C/F △1,388百万円

短期借入金純減額 △803百万円

長期借入金純減額 △493百万円

配当金の支払額 △64百万円



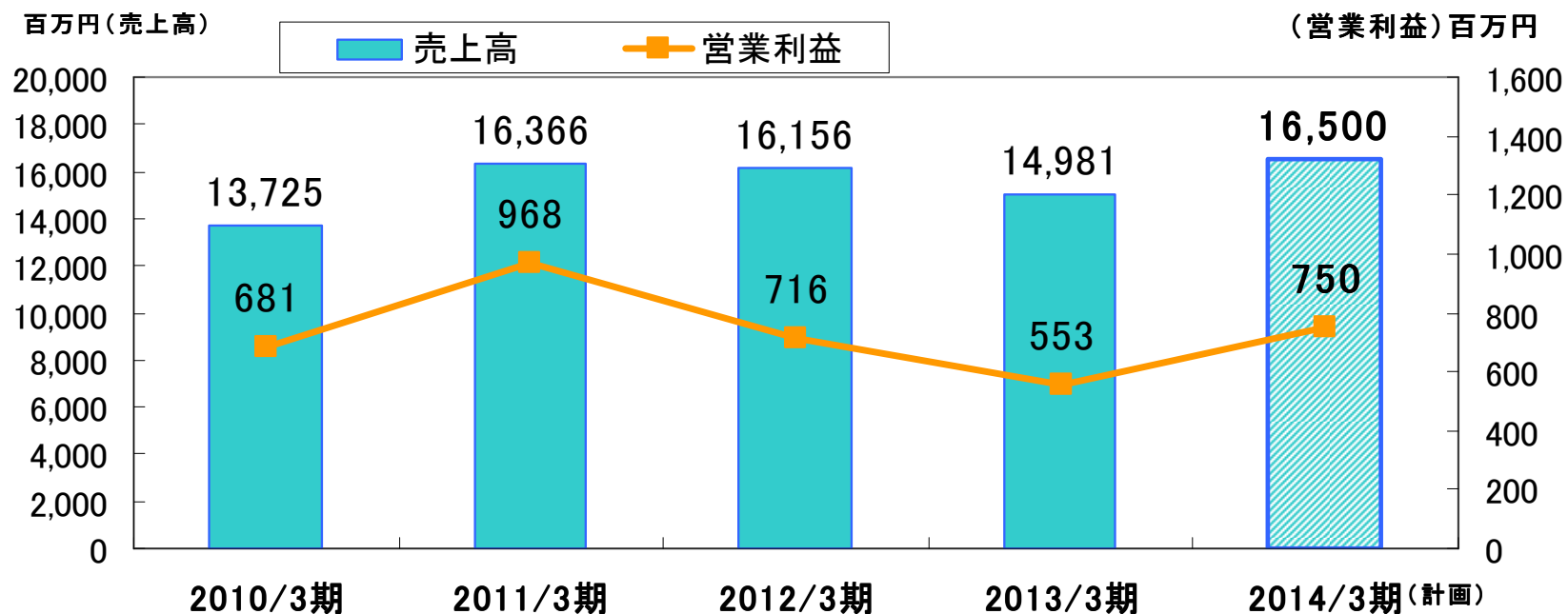
Ⅲ. 2014年3月期 業績予想

2014年3月期 業績予想



(単位: 百万円)

連結	業績予想 (2014年3月期)				(参考) 前期実績
	通期	前期比	上期	下期	
売上高	16,500	110.1%	8,000	8,500	14,981
営業利益	750	135.6%	280	470	553
経常利益	700	106.1%	260	440	660
当期利益	500	158.2%	180	320	316
営業利益率	4.5%	—	3.5%	5.5%	3.7%





IV. 中期経営計画の見直しについて

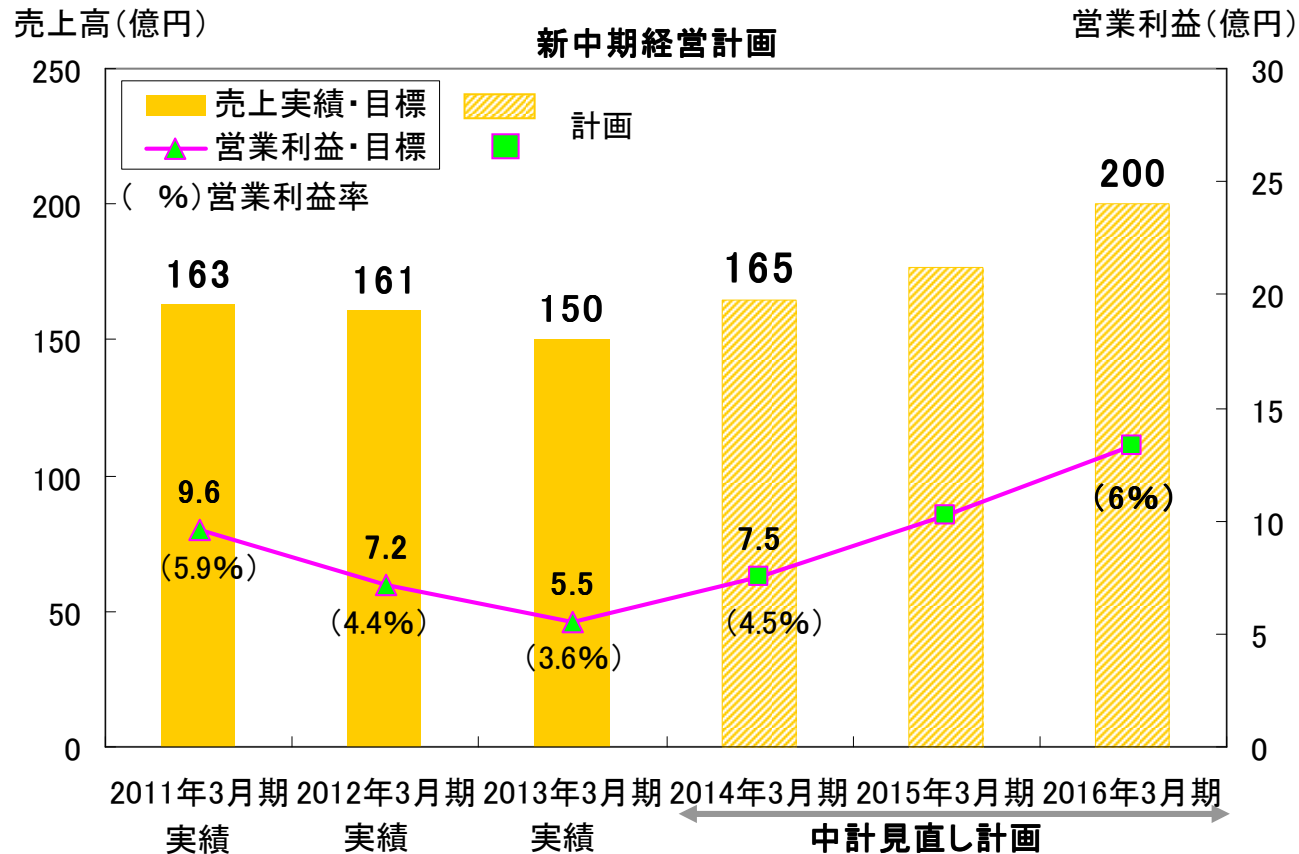
(2014年3月期～2016年3月期計画)

新中期経営目標（2016年3月期）



業績目標

- 売上高 200億円
- 営業利益率 6%
- ROA(総資産利益率) 6%以上



中期経営計画見直しの概要



■ 外部環境

機会(チャンス)	脅威(リスク)
<ul style="list-style-type: none">・アジア新興国(アセアン)の内需主導による市場規模の拡大が進む・中国華東地区等の未開拓地域とグローバル搬送治具市場の存在・新興国自動車市場の拡大と自動車電装化の進行・省電力、省エネルギー分野の新たな需要の拡大	<ul style="list-style-type: none">・欧州債務危機の懸念は後退するが再燃リスクが残る。・日系家電メーカーの低迷・日中関係の不安定化、中国新政権の政策不透明・新興国労働コストの上昇

現中期経営計画(2011年3月期～2015年3月期)は事業環境の急激な変化によって進捗に遅れが生じており、この環境変化と新たなチャンスとリスクに対応するため計画を見直し、数値目標を修正するとともに最終年度を1年延長する。

2016年3月期目標 売上高 200億円 営業利益率 6%

中期経営計画の骨子に変更はありませんが、2014年3月期からの3年間は飛躍の準備期間と位置づけ、成長する新興国を中心にグローバル販売網を拡大、環境技術による新成長分野の開拓と差別化商品の拡販、生産技術の標準化により品質・コストを追求し、事業基盤の強化を図ります。

経営ビジョン・目指すべき方向性



■ 将来ビジョン

「社員が誇れる挑戦企業になる」

■ 基本戦略

「環境対応の技術開発に取り組み、

ボリュームゾーン商品で世界No. 1の企業になる」

■ 目指すべき方向性

長期経営

■顧客の長期的な信頼を得る為に、人材育成・品質向上に努める

挑戦する積極体質

■価値を生み出す積極行動、自立集団化の徹底

社会貢献

■社業の繁栄を通じて社会の進歩、発展に貢献する

成長への5つの重点戦略



■ 環境対応戦略

■ ボリュームゾーン戦略

■ グローバル戦略

■ 収益力強化戦略

■ 新規事業戦略

■ 片面基板事業

- ・片面板の圧倒的トップシェアの獲得を目指す
- ・環境対応の成長分野において、技術優位性を確立し、差別化を図る

■ 両面基板事業

- ・両面板一貫生産技術を確立し、海外での生産の拡大を図る
- ・環境対応の成長分野において、技術優位性を確立し、差別化を図る

■ 実装関連事業

- ・実装関連技術の研究開発を推進し、海外展開のスピードアップを図る

- ・内製化推進、技術力の強化、購買革新、IT化推進により収益力を強化し他社との差別化を図る

- ・基板・実装に次ぐ第3の事業の確立



業績見通しについて



この資料には株式会社京写の将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も多分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なるかもしれない事をご承知おき下さい。